

家庭訪問で教え子を
食ったと思つたら
逆に食われていた話



家々海々下々下々

念のたど思のたら

逆に念わねてい大話







お邪魔
します

娘の部屋は
二階です

俺の担当する
クラスの女子生徒で

明るくて活発で、
男女問わず人気がある子だ。



運動神経もよく、
体育でもよく活躍している

キーン

せーせ

童顔だからか普段あまり
意識しないが...



よく見ると...
やたらと体がむっちりしてて...
エロい...

むちっ



それに、俺を見る時の目が
やたらと妖艶だと
感じることもある…

まだ子供のくせに
女の目で俺を
見て来るのだ…



でも、不登校の理由が
考えられるとしたら…

トッ トッ



いやいや、
何を考えてるんだ

教え子だぞ…

ハッ

グッ



俺が告白を断ったから…?



あの時に

先生が…

好きです…

ドキ

ドキ

ドキ



はい、お任せください

これから仕事があるので、家を空けてしまいますが、どうか先生よろしく、お願いします



ここが娘の部屋です。



クックク

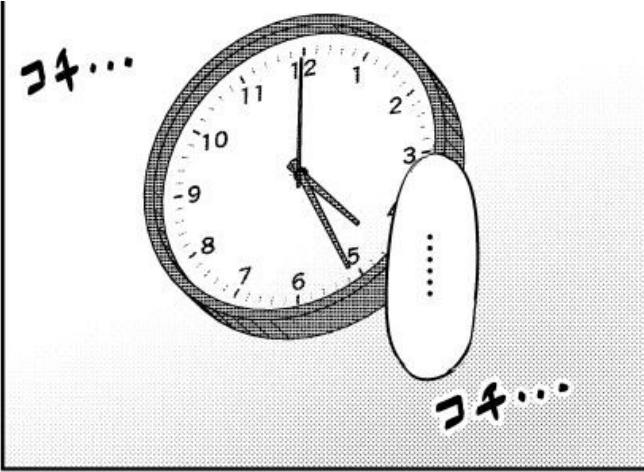
雛森、先生だ。入るぞ

せん…せい…？



久しぶりだな、雛森。
調子はどうだ？

……



34...

……

34...



いらない



男子からなんて
人気あるんだな

シッ
シッ

みんな心配してるぞ
手紙も預かってる



先生にフラれたばかりで…
調子いいわけじゃないじゃん…

酷いよ…



だ、だってお前…
無茶を言うなよ…。

なせ

なせ、

先生と生徒じゃないか…
代わりにできることが
あるならやるから…



な、なにを言うんだ…
そんなこと…

こうなったのも
先生のせいなんだよ？



責任…

とってください



じゃあ…

わたしの体を
拭いてください…

汗をかいて
気持ち悪いので…

えっ！



どうやって脱がせれば
いいんだ…

身体を拭くってことは…やっぱり服を
脱がせないといけないよな…



一体どうすりゃいいんだ…

体を拭くって…



うおっ…肌きれいだな…
それにふくらみかけの胸が
露わに…



自分から脱ぎ始めるだと





ああ…
ふくらみかけなのに、
ちやんと柔らかい…

ギュルルルッ



まだ開発されてない乳首…

まだまだ膨らみかけ…
胸はたしかに膨らんでいるのに、
少女の部分も残している…



少女の乳首なのに…
こんなにピンツピンにして…











そう、
やさしく舌で舐めてみて

ドキ

はあ

ドキ

はあ

はあ

はあ

んあ

はあ
はあ



先生のおちんぽが…
口の中をで入りして…っ

クッ

クッ



すごい匂い…
これが先生のおちんちん…

はあ

はあ

レロ

レロ



いやらしい形が
よく分かつちゃう…

クッ

クッ

クッ



舌で全体を濡らしたら、
歯を立てないように
して口に含んで…

レロ



なのに…

快感が全身を
駆け巡ってやめられない…ッ



セックスの指導をしている…
こんなこと許されない…

俺は教師という立場なのに…
教え子に手を出して…ッ



出る…ッ

ああ…つだめだ出る…
出すからちやんと
口からこぼさず飲んだ…ッ



純粹な少女の
身体を汚してしまった…

ああ…っ
最高だ…っ

フッ

ゴッ

フッ

ゴッ

ゴッ

フッ



先生の精液…
飲んじゃった…

赤ちゃんを作るための精液…
わたしの体の内に
先生の精液が…

ハッハッ

はぁ

はぁ

うっ…エロイ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ビキッ

ビキッ

フッ

ビキッ

ビキッ



せ、せんせえ…？

はっ

はっ

ハッ

もうたまらん…っ
入れる…っ
そして中出しする…っ

こっち来て、
ベッドに腰かけて

君のいやらしい体が
悪いんだからな
君がこうさせたんだぞ

あ…っ
♡

はっ

はっ

ハッ

ゲッ
ゲッ

ぐわぐわ…

ぐわぐわ



く…っ
トロトロで包み込むように
締め付けてくる…っ

母親に頼まれた
すぐ後にこんな
ハメてしまって…っ

グッ グッ



くっ
ちんこの中を全部
搾り取られそうだ…っ

ほちゃんっ

ほちゃんっ♡





くうったまんねえ、
成長途中の華奢な身体っ

親御さんから
信頼してもらっている
身でありながらっ

バキユツ

バキユツ

バキユツ



その家で大事に
育てられている娘を
犯す背徳感が…

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

どうしようもなく
興奮させる…ッ

バキユツ

バキユツ



さつきまで初々しかった少女が、
もうセックスを覚えて
腰を振っている…



もう戻れない…
大人のセックスの味を
覚えてしまったら…



この子を思う同年代の男たちの心も
この子の少女でいられた時間も...っ

俺が全て奪った...

はぁ

はぁ

はぁ

ぐりゅっ

ぐりゅっ



もういいっ...
徹底的に汚す...っ
オレという男を刻んでやる...っ

くっ...ダメだ
もう出る...っ

むちゃっ

は

は

たん

たん

たん







オレは…
こんな少女に
イカされてしまった…

えへへ…
たくさんしちゃったね
せんせ…♥



ちなみに…
今の録音してるから、
だからね…

ちゃんと責任
とってね…先生♥

墜ちぎれていたのは…
俺の方だったようだ…

…っ

ゴロっ♥

ニッコ

あとがき

この度はサークル「ねこ缶」の作品をお手に取っていただき誠にありがとうございます。

自分に行為を寄せる教え子の女の子を、なし崩し的に食ってしまうというお話でしたがいかがだったでしょうか。

最近、自分の作品の方向性が固まってきたというか、だんだん見えてきた気がします。
「やっちゃいけないことなのに、つい流れてやってしまった…」
そんな抗えない欲望と背徳感、それを表現出来ていたらいいなと思います。

ただ、お話自体を考えるのはいいんですが、致してるシーン、これまでに10作ほど描いてきて、これについては自分の引き出しの少なさを感じるようになってきました。

なので、最近は同人エロゲーやエロマンガを積極的に摂取して、自分の引出しを増やすように取り組んでいます。
自分の頭の中で繰り広げられる展開、これももっと色々な展開を描けるようにしていきたいですね。

それではまた次回もお会いできましたら幸いです。

だんだん春が近づいてきているので、暖かくなったら思いきりクロスバイクで走り回りたいですねー。
みなさんも、季節の変わり目なので体調には気を付けてお過ごしください。

書名 家庭訪問で教え子を食ったと思ったら逆に食われていた話
発行 ねこ缶／ぬこやろう
発行日 2023.02.24
著者 ぬこやろう

twitter : nukomarun
pixiv : <https://www.pixiv.net/users/243824>

無断転載、アップロード。禁止事項違反確認時は罰金を請求します。

All rights reserved. A fine will be charged upon confirmation of violation of prohibited matters.